

妊娠高血圧症候群

不安でいっぱいだった3人の出産を乗り越えて

私は24歳で結婚し、初めて出産したのは27歳の時でした。初めての妊娠で不安なこともありましたが、信頼できる先生に出会い、安心して出産することができました。

妊娠8か月ごろから高血圧になり、妊娠中毒症と診断され、減塩を心がけていましたが、出生体重は2295グラムと小さな女の子の赤ちゃんでした。

2人目の出産はさらに大変で、妊娠6か月ごろから「羊水が非常に少ない」と言われ、入院となり、長女もいたので精神的に辛い日々を過ごしました。32週目の時にお腹の中にいるのが限界だったのか、張りもひどく、心拍も下がったため、緊急帝王切開となり1526グラムの男の子を出産しました。NICUのある病院に搬送され、低酸素状態が長かったので「障害が残るかもしれない」と言われましたが、現在は高校1年生となり、大好きなサッカーが毎日できる健康体に育っています。

3人目の出産は、年齢が37歳ということもあり、さらに大変なものでした。赤ちゃんに栄養が行かず、お腹の中で大きくなれないまま、私の身体も限界となり、27週目で緊急帝王切開となりました。652グラムの小さな女の子が誕生しました。普通に産んであげられなくて、申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

3人出産して全員が保育器に入ることになり、自分は出産には向いていない身体なのではないかと悔やむ日々もありました。NICUに5か月入院して、無事に退院できたときは、何にも代え難い幸せな気持ちになりました。

現在は、小学3年生となり、病気もせずに元気に学校に通っています。

長女の時には完全母乳育児ができなかったのが、長男・次女は母乳で育てたい！という気持ちが強く、私自身が退院した翌日から母乳育児相談室に通い、子供がNICUに長期間入院している間も、3時間おきの搾乳を頑張りました。

その努力が実り、2人は母乳で育てることができました。

私が3人出産して感じたことは、普通に産んであげることが難しく大変なことであるということです。妊娠して陣痛が来たら病院に行く、という普通の妊婦の方ができていることを私は経験できませんでした。すべて管理入院から始まり、2人目、3人目は緊急帝王切開というドラマのような展開でした。

現在、長女が大学1年生、長男が高校1年生、次女が小学3年生になり、時の経つのは何と早いことかと驚きますが、子供の成長はあっという間です。

子育てはかわいだけでなく、苦勞も多いのですが、子供が親を成長させてくれます。

私は3人の出産をすべて同じ先生に診ていただけて、安心して臨むことができました。信頼できる先生に出会えたことは本当に幸せなことだと考えております。3人目を出産する直前に「700グラムで生まれたとしても、きちんと育つから大丈夫」と先生が言ってくださったことが、その後どんなに励みになったかしれません。今でも当時を思い出すと目頭が熱くなってきます。妊娠中は、高血圧、羊水過少、発育不全と大変なことが多かったですが、出産を通して自分自身が強くなれたと思います。

3人の子供を持つ母として、これからも日々子供とともに成長していきたいと考えております。